

令和7年度定期予防接種一覧

令和7年4月1日現在

予防接種名		対象年齢	標準的な接種年齢	接種回数	
ロタ ※1	ロタリックス® (1価)	生後6週から24週	1回目は生後14週6日まで に行う。	計2回	
	ロタテック® (5価)	生後6週から32週		計3回	
※1 ロタウイルスワクチンは、2種類あります。同一の製剤での接種を完了することが原則です。					
ヒブ		生後2か月以上5歳未満	生後2か月から6か月の間 で接種を開始	生後2か月以上7か月未 満で開始	計4回(初回:3回 追加:1回)
小児用肺炎球菌		2か月以上5歳未満	初回の開始は生後2か月 以上7か月未満	生後7か月以上1歳未 満で開始	計3回(初回:2回 追加:1回)
				1歳以上5歳未満で開始	計1回
				生後2か月以上7か月未 満で開始	計4回(初回:3回 追加:1回)
B型肝炎		1歳未満	生後2か月以上9か月未満	計3回	
				五種混合 ※2 ・百日咳 ・ジフテリア ・破傷風 ・不活化ポリオ ・ヒブ	生後2か月以上7歳6か 月未満
BCG	1歳未満	生後5か月以上8か月未満	計1回		
			MR ・麻しん	※特例1期、2期 特例接種期間 R7.4.1~R9.3.31	※特例小児1期、2期の対象者でMRワクチン偏在等により期間内に接種でき なかった人について関係法令により接種期間を2年間延長する
1歳以上2歳未満、1期特例 R4.4.2~R5.4.1生	1期 1回	計2回			
水痘 ※水痘にかかった人は対象外	1歳以上3歳未満		1歳以上1歳3か月未 満	1歳以上の接種後 6か月以上12か月未 満	1回目 1回
		2回目 1回			
日本脳炎 ※3		生後6か月以上7歳6か 月未満	3歳	1期初回 2回	計4回
			4歳	1期追加 1回	
			9歳以上13歳未 満	2期 1回	
※3 日本脳炎特例対象者 平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれ・・・20歳未満までの間に計4回。(※4回目は9歳以上で接種。)					
二種混合 ・ジフテリア ・破傷風		11歳以上13歳未満	11歳	計1回	
ヒトパピロー マウイルス 感染症 (HPV) ※4	サーバリックス (2価)	小学6年生~高校1年生 相当	中学1年生	計3回	
	ガーダシル (4価)			1回目の接種を 15歳までに受ける場合	計2回
	シルガード (9価)			1回目の接種を 15歳になってから受け る場合	計3回
※4 HPVワクチンは、サーバリックス(2価)とガーダシル(4価)、シルガード(9価)の3種類があります。 令和5年4月から、9価のワクチン(シルガード)を公費で接種できるようになりました。これまでに、サーバリックス(2価)や ガーダシル(4価)を1回または2回接種した方は、原則として、同じ種類のワクチンで接種することをお勧めします。 < HPVワクチン特例: キャッチアップ対象者 > ①、②ともに該当する人 ①平成9年4月2日から平成21年4月1日生まれの女子、 ②令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間の期間中に1回以上接種している。※令和8年3月31日まで定期接種が可能。					
【予防接種の接種間隔】 注射生ワクチンを接種する場合は、27日以上あける制限は維持しつつ、他のワクチンの 組み合わせについては、制限を設けないことになりました。 ※注射生ワクチン…BCG、MR(麻しん風しん混合)、水痘、おたふく等 ※同一ワクチンを接種する場合は、ワクチンの種類により接種間隔が異なります。					
【対象年齢】 定期接種として法律で定められた接種期間です。 年齢の考え方・・・誕生日の前日に1歳年をとると考えます。「〇〇未満」→ 期間:誕生日の前日まで					
【標準的な接種年齢】 対象年齢のうち、その病気にかかりやすい年齢を考えて接種をすすめる期間です。					